

リカレント教育講座 サステナビリティ経営入門

開催日時



8/21(金) 15:30–17:00

申込〆切：8/3(月)

参加費

600 円

概要



サステナビリティ経営の背景と全体像を基礎から学び、大手企業の対応状況と、中堅・中小企業への影響、求められる対応について事例も交えて解説します



場所 3つの参加スタイルから選べます



対面 群馬大学太田キャンパス



ライブビュー NETSUGEN会場（群馬県庁32F）



オンライン ご自宅、職場等から

※当日のお申し込みはできません。
事前にお申し込みください。

群馬大学太田キャンパスでの対面参加およびオンライン参加に加え、本講座では新たにNETSUGEN会場（群馬県庁32F）でのライブビュー参加という選択肢をご用意しました。講座に参加し、他の参加者や補助講師とアイデアを交換、交流等できる新しい機会としてご活用ください。



個別相談会も実施！

NETSUGEN会場では終了後に個別相談会を実施（サステナビリティ経営の取組に関して有限責任監査法人トーマツの補助講師が幅広くご相談を受け付けます）



お問合せ

群馬大学 産学連携推進部門（太田キャンパス）

kk-kogaku10@ml.gunma-u.ac.jp

Tel. 0276 -50 -2231

申込みはコチラ



サステナビリティとは？

サステナビリティ（持続可能性）とは、将来の世代が必要なものを得る能力を損なうことなく、現在の私たちのニーズを満たすことを意味します。社会、経済そして資源を大切にし、将来にわたって利用できるようにすることです。



サステナビリティ経営とは？

経済・環境・社会・健康・安全の視点を組織運営に取り入れ、持続可能な活動を進めるとともに、関係者（ステークホルダー）と協力しながら組織全体で持続可能性を実現していくための経営手法です。



なぜ中小企業はサステナビリティに取り組むのか？

サステナビリティ経営を行うことは販売拡大、コスト削減、採用強化など様々なメリットを有する一方、取り組まないことはコスト増、取引先喪失などのリスク項目になってきています。



なぜこの講座が必要なのか？

国の法律で大企業から順次、サステナビリティ開示義務化が始まり、大企業と取引がある場合、中小企業にもサステナビリティ開示義務化に関して大きな影響が及ぶ可能性があります。

講師紹介



小口 誠司

群馬大学理工学府客員教授
サステナビリティ保証研究担当

有限責任監査法人トーマツ パートナー
北信越ブロック長、信越事務所長兼サステナビリティ保証推進担当
公認会計士／サステナビリティ情報審査人